

平成24年 第10回 県教育委員会会議
教 育 長 報 告

1 報告事項
平成23年度 県立高等学校中途退学者数等について

2 事項の説明

例年、文部科学省による全国調査の発表を待って公表しているが、平成23年度は中途退学者が増加しており、各学校における中途退学対策の強化を促すため、速報版として報告する。

また、長期休業期間中の生活習慣の乱れから勤怠状況が悪化し、中途退学につながるケースが多いことから、家庭や地域でも夏休みの過ごし方について関心を持ってもらいたいと考えている。

(1) 平成23年度の特徴

中途退学者が増加した主な原因は、高等学校生徒就学支援センターを利用する生徒が前年度よりも減少したこと、高等学校卒業程度認定試験（旧大検）が在学中に受験できるようになり、大学受験資格を得て、大学合格後に高校を退学した生徒が増加したこと等が考えられる。

(2) 沖縄県の中途退学者数等の状況

① 県立高等学校における中途退学者数及び中途退学率

	平成21年度	平成22年度	平成23年度
中途退学者数	953人	847人	930人
中途退学率	2.0%	1.8%	2.0%

② 県立高等学校の中途退学者数等の状況

ア 課程別中途退学者数及び中途退学率

全日制課程

	平成21年度	平成22年度	平成23年度
中途退学者数	721人	581人	684人
中途退学率	1.6%	1.3%	1.6%

定時制課程

	平成21年度	平成22年度	平成23年度
中途退学者数	232人	266人	246人
中途退学率	11.2%	12.7%	11.7%

③ 県立高校の事由別中途退学率

ア 事由別中途退学率

	平成21年度	平成22年度	平成23年度
進路変更	57.4%	65.5%	58.7%
学校生活・学業不適合	20.6%	17.8%	18.8%

イ 「進路変更」の内訳

	平成21年度	平成22年度	平成23年度
就職希望	61.2%	59.5%	63.9%
別の高校への入学を希望	19.2%	17.5%	15.0%
専修・各種学校への入学を希望	5.9%	5.9%	6.0%
高卒程度認定試験受験を希望	4.2%	3.2%	4.0%

(3) 今後の対策

- ① 中高の連携を強化し、進路指導の改善・充実を図り、不本意入学等の解消に努める。
- ② 高校入学後の生徒の実態を的確に把握する。
- ③ 個に応じた指導の充実を図る。
- ④ 魅力ある教育活動を展開し、学校生活への適応を図る。
- ⑤ 中途退学対策加配校を15校指定し、対策の強化に努める。
- ⑥ 高等学校生徒就学支援センターの役割についての周知を図る。
- ⑦ スクールカウンセラーを活用し、個に応じた支援計画を作成する。
- ⑧ 一括交付金を活用した「教育相談・就学支援事業」による支援を行う。
- ⑨ 家庭、地域、NPO（厚生労働省サポートステーション事業等）との連携を強化する。

※ 高等学校卒業程度認定合格により高校を退学してしまうケースについては、個々の生徒の様々な状況が考えられるため、今後、さらに分析をしていきたい。

※ 文部科学省から全国調査のデータが公表された際には、今回公表したデータとともに、あらためて発表する。